



2019年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 大森屋

上場取引所 東

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲野 達郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中田 勝

TEL 06-6464-1198

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	13,930	5.5	350	20.3	358	18.9	233	64.9
2018年9月期第3四半期	13,202	5.3	440	217.8	441	198.8	664	717.5

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 171百万円 (73.6%) 2018年9月期第3四半期 650百万円 (452.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	46.02	
2018年9月期第3四半期	130.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第3四半期	13,903	10,353	74.5	2,041.50
2018年9月期	14,422	10,258	71.1	2,022.68

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 10,353百万円 2018年9月期 10,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		15.00	15.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	4.0	345	23.1	350	22.5	230	63.6	45.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期3Q	5,098,096 株	2018年9月期	5,098,096 株
期末自己株式数	2019年9月期3Q	26,520 株	2018年9月期	26,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期3Q	5,071,576 株	2018年9月期3Q	5,072,159 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する注記は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお上記予想に関する事項については、添付資料3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の継続的改善等により、企業収益・設備投資が堅調であったことから、緩やかな回復基調であったものの、海外経済の不確実性などにより景気の先行きは不透明で推移いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境といたしましては、消費者の節約志向、低価格志向は恒常化しており、また今収穫期における原料海苔は記録的な不作となり仕入価格が高騰するなど、大変厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社では、物流費、人件費をはじめとするコスト増に対応するべく効率的な生産活動に努めてまいりましたが、原料海苔価格が高騰したことから、2019年6月に家庭用海苔製品の販売価格改定を実施いたしました。また、海苔以外の新製品開発にも重点を置き、積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,930百万円（前年同期比5.5%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は350百万円（前年同期比20.3%減）、経常利益は358百万円（前年同期比18.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期にあった不動産の譲渡による固定資産売却益（特別利益）が当期はなかったことなどから233百万円（前年同期比64.9%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、第1四半期連結会計期間より記載を省略しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」の「（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載しております。

なお、売上高を品目別に分類しますと、家庭用海苔につきましては、高品質の原料海苔を使用した製品の販売に注力した結果、売上高は5,545百万円（前年同期比4.3%増）となりましたが、進物品につきましては、ギフト市場の低迷により、売上高は1,012百万円（前年同期比4.0%減）となりました。ふりかけ等につきましては、他社とのコラボによるふりかけ製品が好調を維持し、売上高は2,825百万円（前年同期比1.3%増）となりました。業務用海苔につきましては、新規取引先の開拓に加え既存取引先での販売が増加し、売上高は4,498百万円（前年同期比12.3%増）となりました。その他につきましては、売上高は49百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて519百万円減少し、13,903百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて337百万円減少し、11,018百万円となりました。これは現金及び預金が1,500百万円、受取手形及び売掛金が445百万円それぞれ減少したこと、たな卸資産が1,473百万円、その他の流動資産が134百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて182百万円減少し、2,885百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が87百万円、投資有価証券が85百万円、繰延税金資産が30百万円それぞれ減少したこと、無形固定資産が14百万円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて392百万円減少し、2,940百万円となりました。これは主に、未払金が328百万円、未払法人税等が279百万円、その他の流動負債が151百万円それぞれ減少したこと、短期借入金が412百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて222百万円減少し、609百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が203百万円、長期借入金が54百万円それぞれ減少したこと、長期未払金が44百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて95百万円増加し、10,353百万円となりました。これは主に、利益剰余金が157百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が63百万円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました「2019年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,686,242	1,185,564
受取手形及び売掛金	3,282,444	2,837,301
たな卸資産	5,371,461	6,845,423
その他	15,119	149,805
流動資産合計	11,355,267	11,018,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,771,520	2,811,913
減価償却累計額	△1,826,163	△1,867,071
建物及び構築物(純額)	945,356	944,842
機械装置及び運搬具	2,448,495	2,480,200
減価償却累計額	△1,693,423	△1,812,977
機械装置及び運搬具(純額)	755,072	667,223
土地	721,179	721,179
その他	264,979	277,003
減価償却累計額	△246,733	△249,625
その他(純額)	18,246	27,378
有形固定資産合計	2,439,854	2,360,624
無形固定資産	15,852	29,964
投資その他の資産		
投資有価証券	434,277	348,479
繰延税金資産	142,380	111,387
その他	37,573	37,059
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	611,931	494,626
固定資産合計	3,067,638	2,885,215
資産合計	14,422,906	13,903,309
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,409,753	1,329,820
短期借入金	60,500	472,600
未払金	1,214,442	885,513
未払法人税等	286,479	7,000
賞与引当金	91,408	126,380
その他	270,093	118,867
流動負債合計	3,332,677	2,940,182
固定負債		
長期借入金	302,500	248,050
役員退職慰労引当金	203,854	—
退職給付に係る負債	325,676	317,408
長期末払金	—	44,045
固定負債合計	832,031	609,504
負債合計	4,164,708	3,549,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	8,281,693	8,438,993
自己株式	△25,774	△25,774
株主資本合計	10,114,130	10,271,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,830	88,392
為替換算調整勘定	9,777	8,524
退職給付に係る調整累計額	△17,540	△14,725
その他の包括利益累計額合計	144,066	82,191
純資産合計	10,258,197	10,353,621
負債純資産合計	14,422,906	13,903,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)
売上高	13,202,619	13,930,035
売上原価	8,923,694	9,547,629
売上総利益	4,278,925	4,382,405
販売費及び一般管理費	3,838,536	4,031,555
営業利益	440,389	350,850
営業外収益		
受取利息	30	41
受取配当金	6,819	7,209
その他	3,180	2,426
営業外収益合計	10,029	9,677
営業外費用		
支払利息	997	1,276
支払手数料	5,979	—
為替差損	681	829
その他	960	267
営業外費用合計	8,618	2,372
経常利益	441,800	358,155
特別利益		
固定資産売却益	435,876	—
投資有価証券売却益	56,824	—
ゴルフ会員権売却益	150	—
受取保険金	—	8,895
特別利益合計	492,851	8,895
特別損失		
固定資産除却損	39	0
ゴルフ会員権退会損	4,591	—
災害による損失	—	6,261
お別れの会関連費用	21,737	—
特別損失合計	26,369	6,261
税金等調整前四半期純利益	908,282	360,789
法人税、住民税及び事業税	292,017	69,693
法人税等調整額	△47,948	57,722
法人税等合計	244,068	127,416
四半期純利益	664,214	233,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	664,214	233,373

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)
四半期純利益	664,214	233,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,627	△63,437
為替換算調整勘定	△191	△1,252
退職給付に係る調整額	3,676	2,815
その他の包括利益合計	△14,142	△61,875
四半期包括利益	650,071	171,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	650,071	171,498
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整	合計
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,194,614	8,005	13,202,619	—	13,202,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,194,614	8,005	13,202,619	—	13,202,619
セグメント利益	436,945	3,443	440,389	—	440,389

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、「不動産賃貸事業」の重要性が乏しいことから、報告セグメントを「食品製造販売事業」のみに変更しております。

その結果、当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、2018年11月9日開催の当社取締役会において、2018年12月20日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払い分を固定負債の「長期未払金」として表示しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。